

石垣市長選に見る左翼のえげつなさ

JJ1SXA/池

先日、尖閣諸島を所管する石垣市で、市長選が行われたが、当時の現職・保守の中山義隆氏と元職・革新の大浜長照氏の一騎打ちだった。

再選された中山義隆氏が、桜井よし子氏の主宰する、インターネットテレビ「君の一步が朝(あした)を変える！」で、驚愕の選挙戦の実態を語っている。

中山氏:「日本共産党や社民党の革新勢力が石垣島で共闘して臨んだのが今回の市長選でした、彼らは「元の形に戻そう」と呼びかけました、保守派の政治家としての私の政治ではなく、革新派の政治家の大浜氏の手で石垣を取り戻し、自衛隊を排除し、教科書もかつての日本国に批判的な内容のものに、再び戻そうということです」…

以前の記事「左翼新聞の謀略記事？(1.Ma,2014 記)」で書きましたが、「琉球新報」は、市長選告示日に一面トップで「陸自、石垣に 2 候補地」「防衛省が来月決定」という見出しの記事を掲げ、今にも陸上自衛隊を石垣島に配備する、翌月にも正式決定されると印象づける見出しだが、これは事実無根で、石破茂自民党幹事長も小野寺五典防衛大臣もただちに同記事を否定、小野寺氏は「このような事実と反する報道」には「何らかの意図が感じられる」とまで語り、防衛省は、琉球新報社および日本新聞協会に異例の申し入れを行った。

中山氏:この記事が出た翌日からこの記事を使ったあからさまなビラが大量に出回り始めました、「平和と観光の島に軍事基地いらない、前市長へ 1 票を」などと書いています、そして、ここまでやるかと驚いたのは、私の名前で出された「差押予告」です、「滞納整理強化月間」「あなたが納めるべき市税が、いまだに納付されておられません」などと書かれ、財産差し押さえの具体例として「預貯金の引き出しができなくなる、給与から直接取り立てる、車のタイヤをロックして運転出来なくする」などと、私を強引な市長と印象づけるおどろおどろしい事例が列挙されていた、「これは正式な書式ですが、私の印鑑はありません、警察に届け出を出しましたが、こんな悪質な紙を各家のポストに投げ入れているのです、大変な数の人間を動員したと思います」…

以前、大浜氏が市長だった時、米海軍の掃海艇の石垣港入港に当たって非常事態宣言を出し、「軍靴の響きが市民を恐怖に陥れる」として、掃海艇乗組員の上陸を阻止しようとした経緯がある、石垣市長の国防政策に関する考え方が石垣島を含む南西諸島(当然尖閣諸島を含む)の守りに大きな影響を与えるのは歴然たる事実。

中山氏が勝利したことで、まずは安心だが、いやはや、左翼勢力のすさまじい選挙戦、大浜陣営を応援する社民党は選挙カーの「社民党」の文字の上に「市民党」のステッカーを貼って走り回っていたという、社民党や共産党は、国防を何と心得ているのだろうか？幸いにも、沖縄 11 市中、革新の市長は 2 市だけとのこと、次は沖縄市長選や知事選だ、又も、えげつない選挙戦になることでしょう。(29.Ma.2014 記)